

## トピックス



大阪市北区天満橋1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 赤西国有林「法人の森」で新入社員研修



### 自然観察会で説明を受ける新入社員

【兵庫森林管理署】<sup>しそうしあかさい</sup>4月12日(金)、宍粟市赤西国有林の分収育林地「法人の森」において、株式会社日本触媒の新入社員研修「水源の森」森林実習が行われ、新たに社員となった60名の方が参加しました。

はじめに、川畑署長から「今日では、かつてのような人と山との繋がりが薄れ、森林からの恩恵、ありがたみを感じなくなっています。この様な中で、3回目を迎える日本触媒の新入社員研修がこの赤西国有林で開催されることに意義深さを感じています。研修では、自然観察会や間伐体験が予定されていますが、これらの活動を通じて、山(森林)が有する働きや保全の必要性などについて体感して頂き、これを契機に皆さんが、この場所との繋がりを深めて頂ければ幸いです。」と歓迎の挨拶を行いました。

その後研修生は、当署職員やNPO法人ひょうご森の倶楽部会員の案内で、歩道整備された森林内を歩き、樹木や森林の特徴などについて話を聞きながら観察会を行いました。

昼食後は、研修生が9グループに分かれ、ひょうご森の倶楽部会員の指導のもと間伐作業を体験しました。研修生の殆どが山で鋸を使うことが初めてで、使い方に苦

間伐体験中 →



労していましたが、慣れるに従い作業の手順を会得し、みんなで協力しながら安全に間伐作業を行いました。

続いて場所を室内に移してワークショップを行い、「今回の森林実習で学んだこと、気づいたこと」、「日本触媒が社会貢献活動をする意味とは」、「日本触媒の社員として明日からの行動に生かすこと」の3テーマについてグループ討議を行い全体で発表しました。

研修生から、「山では危険因子がいっぱいあった。そのためにも声掛けの重要性が分かった。また、一つの作業をするにしても個人ではなく、チームとして取り組む事の重要性が理解できました」、「人と森林との関わりでは、<sup>※</sup>オーバーユースやアンダーユースがあり、適度な関係を保っていくことの大切さを知りました。今後森林をメンテナンスする機会があれば手を貸したい」、「水を大量に使う化学品製造企業としては、自然に対する感謝の気持ちを持ちつつ、水資源への恩返しのためにも普段から自然環境の保護活動が必要」などの発表がありました。

研修生たちには、野外での研修でリフレッシュできた喜びと、森林・林業に対する理解が深められた一日となったようです。

近畿中国森林管理局 次長  
～着任のご挨拶～



石井 晴雄 次長

4月1日付けで次長を拝命しました。当局管内の勤務は初めてです。一日も早く雰囲気をつかんで、公私共に全力を出していきたいと考えています。よろしくお願いします。

次長の基本的な事務は「局長を助け、局の事務を整理する」とされているので、様々な

場所や場面に積極的に出没するつもりです。新設の職ですから、しばらくの間は皆さんを戸惑わせてしまうこともあると思いますがご容赦ください。

私の前任地（北海道森林管理局）では全国の7局で唯一局内に次長が置かれていて、じつは、次長がいることの得失を比較すれば、マイナスが大きいのではないかと思います。思いながら赴任していきました。

ところが、そこでは設置されてから既に7年以上経っていた上に、代々の次長が着実に実績を積み上げてきていたので、職員から次長に関するマイナスの意見を聞くことはありませんでした。また、私自身も数多くの場面で助けていただき、最初のイメージは程なく払拭されました。

当局で、私がすぐにそんな存在になれるわけではありませんが、多くの皆さんの意見を聞きながら、一緒に「近畿中国局の次長」を作っていきたいと考えています。

国有林には、地域の森林・林業の再生に向け、積極的に民有林との連携を図っていくことが求められており、これにも力を注いでいきます。技術力や現場力を向上させ、技術で地域の森林・林業を牽引していくなど新しい取組を局、署等が一体となって着実に進めていきたいと思います。

なお、趣味は、芸術鑑賞、スポーツ、編み物その他の面白そうなことを広く浅くやることです。

「平成25年度国有林モニター」  
が決定しました!

【総務企画部 企画調整課】

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から国有林モニターを募り、



昨年のモニター会議  
奈良県十津川村、現地視察の様子

国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「開かれた国有林」に



昨年のモニター会議：  
山口市での意見交換会の様子

さわしい管理経営を行うことを目的としております。国有林モニターの方へは、広報誌や国有林に関する資料を送付し、国有林の役割や現状といった情報をお知らせすると共に、国有林モニター会議への参加やアンケートへの回答等を通じて、ご意見をいただくこととしております。

平成25年度については、応募・同意をいただきました68名（男性44名、女性24名）の方に「国有林モニター」として活動いただくこととなりました。

「京都京北の里森のおまつり」  
～局1階展示ギャラリーにて～

【森林整備部 技術普及課】4月20日（土）、心地よい春の風が吹くなか局庁舎1階の展示ギャラリーと正面玄関側のスペースを会場として、京北木材協同組合などが主催する「京都京北の里森のおまつり」が開催されました。



「京都京北の里森のおまつり」会場

この取組は、木材利用拡大、地場産品の需要拡大など中山間地域の振興を目的として開催されたもので、展示ギャラリーなどのスペースを一体的に活用したはじめての取組でした。

当日は、6次産業化を目指している、京北地方の代表的な樹種であるスギやヒノキを素材にした机、椅子、テーブル、棺桶など展示や販売がありました。

また、地域の農産物の素材を活かしたお弁当やお漬けもの、お茶などの展示・販売、餅つき大会、丸太切り体



親子で体験！

験、林業機械の展示・体験操作など様々な催しものがあり、1日限定の開催にもかかわらず、3千人の老若男女が訪れ、大盛況のうちに終えました。

近畿中国森林管理局では、中山間地域の振興のための催し会場として、展示ギャラリー等の施設の利用を広く一般に解放していますので、どしどし利用してください。



賑わう展示ギャラリー

地域ニュース



【和歌山森林管理署】4月21日（日）、和歌山森林管理署が管轄する大浜国有林（和歌山県新宮市）に隣接する王子ヶ浜で、アカウミガメが上陸するのを前に一斉クリーン作戦が開催され、当署から3人の職員が参加しました。

吉野熊野国立公園に指定されている王子ヶ浜は、アカウミガメが毎年5月から8月にかけて上陸し産卵する、世界でも数少ない海岸のひとつとなっています。

今回の一斉クリーン作戦は、王子ヶ浜と七里御浜等で開催されたものでアカウミガメが繁殖する豊かな自然環境への関心を持ってもらい、車の乗り入れ規制への理解と協力を推進することを目的として、和歌山森林管理署はじめ環境省近畿地方環境事務所、東牟婁振興局、新宮市など10の関連機関や一般市民など総勢約600人が参加し海岸に漂着した流木やごみ（約530キロ）を撤去し、クロマツの続く海岸林一帯の砂浜を、参加者の力できれいにしました。



王子ヶ浜での海岸清掃

当署では、今後も地域の方々と連携し、素晴らしい自然と砂浜を後世に残すために積極的にクリーン作戦等のイベントに取り組んでいくこととしています。



【福井森林管理署】4月16日（火）、あわら市の北湍国有林において、FBC福井放送主催の「松林の保全キャンペーン植樹体験」が行われました。植樹はFBC福井放送が2008年度から展開している「ずーっと、福井で。」キャンペーンの一環で、これまで県内各地で植樹しています。

国有林の保全活動に取り組んでいる北湍の森協議会（河田勝治会長）と福井森林管理署とが協力して、北湍幼稚園関係者約



北湍幼稚園関係者の皆様

75名により行いました。

主催者あいさつの後、福井森林管理署長から北湍国有林の概要と保安林の役目などの説明を行いました。次に、あわら市長から「松くい虫被害により松林が減少しており、そのための松林を存続するための植樹行事はたいへんあり



仲良く植樹

ながら1本ずつ丁寧に植えました。参加した園児は「大きく元気に育てほしい。」と話していました。

がたい。」との挨拶がありました。

職員から植樹方法の説明の後、高さ約40cmの抵抗性クロマツ300本をみんなで協力し

## 平成25年度自動車整備管理者講習会 ～安全運転管理への取り組み～

【総務企画部 総務課】平成25年度自動車整備管理講習会が平成25年4月26日(金)、局玄関前にて晴天のもと行われました。

毎年お願いしている浪速自動車工業株式会社代表取締役の石川氏に、冊子および実際の官用車を使い、参加した30名を超える局職員に講習いただきました。

### ～講習抜粋～

日常点検は、自家用自動車の場合毎回しなくてもよいとされ、1ヶ月に1度または長距離走行前や洗車時に行うのが一般的ですが、毎回運転する際に「聞く・見る・触れる」ことは故障箇所の早期発見につながります。点検箇所は15項目で、約15分程度かかります。



講習をしっかりと聞いて

**聞く：**セル・モーター音、アイドリング音はいつもと違うかないか？

**見る：**タイヤがすり減ったり空気が減っていないか、ライトが点いているか？

**触れる：**アクセル、ブレーキの踏み心地に異常はないか？普段から正常時がどうであるか意識しておくことも大事です。

### 日常点検の主な項目

#### 1. エンジンルームをのぞいて点検

ウインド・ウォッシュ液・ブレーキ液(量・漏れをチェック)・バッテリー液(量)・冷却水(ラジエーターリザーバ・タンクで確認)・エンジンオイル(量)

#### 2. クルマの周りを回って点検

タイヤの空気圧(少し高め)・亀裂や損傷(経年により劣化)・溝の深さ(1.6mm以下で交換)、ライト類の点灯レンズの汚れ

#### 3. 運転席に座って点検

ブレーキペダルの踏みしろやブレーキの効き  
パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ  
ウインド・ウォッシュ液の噴射状態  
ワイパーの拭き取りの状態(ゴムは半年に一度交換)  
エンジンの掛かり具合及び異音(エンジンの低速及び加速の状態)



熱心に点検作業中

今回2台の官用車を使って点検を行いました。空タイヤの気圧が低かったりスペアタイヤがスタッドレスタイヤで、安全上や走行上の問題

が生じる恐れがあると指摘されました。

官用車は多数の職員が運転するため、いつ点検したのかははっきりしないこともあるかと思いますが。運転前、運転時には「聞く・見る・触れる」を実行して異常があれば、周知してそのままにしておかないようにすることが必要です。日常点検を怠らないようにしましょう。

今回参加された職員も熱心に聞いており、この機会にぜひ自家用車についても点検していただき、事故の無いように過ごしていただきたいと思います。

### お知らせ

#### もり 森林のギャラリー(局庁舎1階)

##### 【5月の展示スケジュール】

テーマ『団体や府県の取り組み』

5/7～5/17 「国産材で住まいづくり」【NPO国産材住宅推進協会】

5/7～5/17 「高知県観光展」【高知県大阪事務所】

5/7～5/17 「心にググッと群馬」【群馬県大阪事務所】

5/9～5/17 「木炭・木炭コンロの普及」【全国燃料協会】(BOX展示)

5/20～5/31 「地域にとけ込む間伐材」【京都府森林組合連合会】

5/20～5/31 「アサヒの森における活動の紹介」

【アサヒビール株式会社アサヒの森環境保全事務所】(ギャラリー・BOX展示)

### 今号の花草木

バックに使用しているのは「シロヤマブキ」です。鑑賞用の物を庭先などで見かけるかと思いますが、実は！自生種は絶滅危惧種になっています。

ヤマブキの白い版と思われるかもしれませんが、別属になります。分かりやすい違いは、花弁がヤマブキの方が1枚多い5枚になるんです。

学名は *rhodotypos scandens* でギリシャ語の *rhodon* (バラ) + *typos* (形) = 輪咲のバラに似ている事からつけられたそうです。(因みに *scandens* はよじ登る性質の意味)

花言葉は、気品・薄情。  
見たまま？なのか？、極端な花言葉を持つ植物ですね。